

日 時：平成29年3月1日（水）15：00～17：00

司 会：教頭

出席者：学校協議会委員（6名）

大阪人間科学大学（特任教授）大阪府立北大阪高等職業技術専門校（副校長）

大阪知的障害雇用促進建物サービス事業協同組合（事務局次長）

北河内西障害者就業・生活支援センター（主任就労支援ワーカー）

枚方市村野区（区長代理）本校PTA（会長）

学校長 事務局（8名） 傍聴者（保護者1名）

1 資料の確認および次第説明（教頭）

- | | |
|----------------------|-------|
| ・ 本日のレジメ（次第） | 資料番号① |
| ・ 「学校教育自己診断」の結果について | 資料番号② |
| ・ 「平成28年度学校経営計画」について | 資料番号③ |
| ・ 「防災プロジェクトチーム」実践報告 | 資料番号④ |

2 校長挨拶

- ・ H29年度入学者選抜における不十分な対応についてのおわび。
- ・ 次年度に向けての総括中。自己診断分析については是非ご意見を賜りたい。

3 報告

① 「学校教育自己診断」の結果について（首席）

- ・ 「学校教育自己診断の実施と結果について」の資料に沿って説明。

なかでも、①生徒の項目②保護者の項目③教員の項目④三者比較の考察の報告を中心に説明した。

② 「平成28年度学校経営計画」について（校長）

- ・ 委員の方々に事前配布した資料の変更点の確認
- ・ 本年度の取り組み、自己評価について資料に沿って説明。

③ 「防災プロジェクトチーム」実践報告（首席）

- ・ 「防災プロジェクトチーム」活動報告資料に沿って説明。

4 協議

会長：「学校教育自己診断の結果」は生徒、保護者、教員、三者比較それぞれの項目について詳細にまとめられている。

まず生徒の項目について意見がないか。

会長：生徒に対してアンケートを返すことで参加意識の向上が期待できるが、どう返していくのか。

校長：意見を基に各分掌などで協議していくが、生徒会を中心に返していきたい。

事務局：目安箱の設置を検討中であるが検討事項がまだある。生徒主導のルール作り、規範意識の向上ができるようなものを取り入れたい。

会長：アンケートの返しは今後しっかり考えてもらいたい。

A委員：考察は非常によくまとめられているが、実現に向けた具体策はあるのか。例えば生徒への話し方、伝え方などの勉強の機会など。

- 校長：公開授業週間の設定をし、教員間の授業力向上の機会は設けている。事後の協議が実施できていないことが課題である。
- 事務局：課題としてクローズアップされている。生徒への言葉かけなどについて教員全体での統一感の構築については時間の問題もありなされていない。ご指摘の生徒理解に基づく生徒指導、授業のあり方については次年度以降の大きなテーマとして認識している。具体策も含めて考えていきたい。
- 会長：方向性はあると思うので、具体的に進めていってもらいたい。
- B委員：開校から2年でよくやってこられたことが感じられる。ただ若手教員などの指導、育成態勢が取れていないことが気になる。勤務先では教育係りや技術を持った講師などが若手育成にあたっている。
- 会長：どこの教育現場でも共通の課題としてある。OJTなどの取り組みをしてみてもどうか。
- 校長：初任者については法定研修がある。基礎的な力は育成されるが、校外の研修であるので、校内OJTの時間が少ない。実践でのノウハウの伝達は必要であるという意識は持っている。
- 会長：多忙な業務の中で苦労があることはわかるが、今後の学校経営を見据え、OJTや校内の指導体制については計画してもらいたい。
- 校長：まずは確かな授業づくりをしっかりと行う必要があると考えている。
- 会長：次年度の報告に期待している。
- 事務局：初任者に向けて企業での就労を経験する、社会体験研修を行った。有意義な取組であったと感じているので、次年度も実施したい。
- 会長：特に高等支援学校においては、社会との接点を持てる研修は重要である。
- 会長：保護者の項目について意見を伺いたい。
- 会長：個別の教育支援計画についての評価が高い。
- A委員：個別の支援計画についてはかなりしっかりと書かれている。保護者のなかには本来のフォームを知らない方もいるのではないかな。
- 会長：ホームページの項目はどの学校でも低い傾向があるが、情報の発信は大切である。
- 校長：ホームページなどの情報発信については改善が必要であると考えている。
- 会長：保護者の意見については個人的な見解のものもあると思うが、肯定、否定も含めて率直に受け止めていって欲しい。
- 会長：教員の項目について、特に教員育成、組織マネジメントについて協議したい。
- C委員：教員の項目で否定的な回答率が高い項目は、責任感からのものであると思われる。
日々の忙しさのなかで大変であろうと思われるが、時間を作り、人材育成に注力いただきたい。
- 校長：若手教員、転任教員の多い中、キャリアの違いがあり、学校経営に対する共通イメージの構築が課題である。また、次年度も多くの教員が増えることが予想される中、開校当初から勤務している教員とのさまざまな差についても懸念している。それとは別に、毎週木曜日に

19:00までに退校する「はよかえろうDAY」を設定したが、超過勤務増による教員の体調不良も気がかりである。

会長：教員の勤務時間の把握はできているか。

教頭：他校と比べ開校2年目の忙しさがあり、教員の負荷が大きい。月の超過勤務時間が80時間を越える教員もいるのが現状。

会長：マネジメントをしてもらえたら。

B委員：勤務校は定時退勤する日を設定している。曜日を定めるなどしていけば効果が出ると思われる。

校長：実態として把握しているが、生徒指導対応や保護者連携のための時間外の対応などもあり難しいところがある。ただ、管理職としてマネジメントしていく必要はある。

会長：難しいことは理解しているが、世の中の動きもあるので、管理職としてマネジメントする必要がある。

会長：三者の比較、次年度に向けて委員の意見を伺いたい。

D委員：進路について「生徒理解」の項目について、向上は簡単ではないが、課題である。就労だけがすべてではなく、「進路」=社会自立であることの理解促進が命題であると考える。

E委員：相談体制の構築が大切。まず傾聴の姿勢を持つ。教員が忙しいということで、生徒が相談しにくい状況を作っていないか。まず相談できる時間枠を作るなど、体制作りの構築を進めてみてはどうか。相談の習慣が身に付けば、社会に出ても生きてくる。

会長：相談できる力の育成は大切。

会長：「進路」項目については先輩の話を聞く機会を設けたり、身近な仲間の話は教育効果が高い。

事務局：進路学習を年間の計画性を持って行っていく。

会長：振り返りをすることで意識付けはできているのではないか。

事務局：進路学習の名前を統一することでの意識付けも行いたい。

会長：ここからは学校経営計画についての意見を伺いたい。

会長：「就労について」は順調に進んでいるようなので次年度も引き続き進めてもらいたい。

校長：3年生のカリキュラムマネジメント、学科としての取り組み、計画について報告したい。

事務局：シラバスについて、生徒の実態を見据えた見直しや改定を行ってきた。また、次年度3年生専門の授業は金曜日の1～6限までの通しで行い、またカフェを毎日オープンできるような時間割を作成した。

会長：学校経営計画に基づいたカリキュラムマネジメントを引き続きお願いしたい。

会長：個別の移行支援計画についての計画はどうか。

事務局：企業が見やすいものを、活用できるものを作成したい。

E委員：簡素化が大切である。企業などに合わせ、具体的なポイントを押さえたものが求められている。

会長：情報の精査は必要。

E委員：求められている情報を基にフォームの作成をしてもらいたい。

会長：「教員の資質向上について」は先ほど議論したとおり。

会長：「安全安心な学校作り」について、地域との関連はどうなっているか。
校長：現在、地域との関連はない。
C委員：3月19日に地域の防災訓練は企画しているが、むらの参加は予定していない。
校長：避難指定場所になっていないこともあるので。
会長：将来的には施設の共有化も必要になってくる。地域住民のニーズが高まれば、話も進んでいくと考えられる。
会長：「高等支援学校のセンター的機能について」はどうか
校長：府内5高等支援学校の連携体制をまず構築したい。
事務局：5校体制の構築はまだまだこれから。高等学校のニーズの捉え方も考える必要があるが、まずは5校の学校としての力の向上が先決。また共生推進教室の設置校へ支援が必要な生徒に対するアプローチを計画している。
会長：全体を通してのご意見を伺いたい。
B委員：開校2年めの忙しさを感じている。ただ若手教員の育成のための時間捻出は必要。また防災ハザードマップについては生駒断層による災害を想定されても有用ではないか。
C委員：開校当初から通学経路での事故を懸念している。
校長：今年度は接触事故が1件、同様に懸念はしているが、行政に道路拡幅工事など申し入れても、物理的に困難な点があり具体的な措置にはいたっていない。引き続き生徒への注意喚起や教員の見守りで対応していきたい。
A委員：来年度3学年揃うのが楽しみ、期待しています。
会長：次年度継続した課題、また新たな課題があると思うが、学校経営計画に基づく学校運営を期待している。

5 学校長あいさつ

委員の皆さまからの励ましの言葉を糧とし頑張りたい。1年間の協議に感謝する。本日の傍聴者の方についても感謝申し上げる。次年度3学年が揃う3年目をしっかりと作っていききたい。

6 事務局より（教頭）

本日のご意見は今後の参考にしたい。
記録については各委員の方に確認していただくのでよろしくお願いいたします。
今年度を持って御退会の委員様の後任は特例子会社所属の方に依頼を予定。
またPTA会長様も退会。後任は次年度4月30日のPTA総会で選出される新PTA会長様の予定。
他の委員様は引き続き来年度もお願いします。
次年度協議会の予定
第1回：6月28日～7月7日の間
第2回：11月22日～11月30日の間
第3回：3月第2週、卒業式以降

7 閉会（教頭）